

特養移転改築事業の地鎮祭を行いました

令和元年5月14日(火)、特別養護老人ホームやまぼうし建設予定地（大館市比内町新館字真館地内）において、施工業者主催による地鎮祭が行われました。快晴の中、福原淳嗣大館市長や工事関係者等約30名が参列し、地鎮之儀等を行い、工事の安全と建物の無事完成を祈願しました。

また、地鎮祭の開催にあたり、金田勝年衆議院議員をはじめ、多くの方よりご祝詞を頂戴いたしました。誠にありがとうございました。

この後、12月上旬の完成をめざし工事が進められ、完成後には特養扇寿苑（大館市比内町扇田字中山川原）の入居者引っ越しを、年内に行う予定です。

※今回の事業は、秋田県の平成31年度社会福祉施設等施設整備の基本方針による「施設入所者等の安全性を確保する観点から、地すべり防止箇所等危険区域に所在する施設の移転改築整備」として、必要性が高いものとして行うものです。

【工事概要等】

敷地面積 6022.85㎡

建物用途 特別養護老人ホーム

構造等 鉄骨造2階建て

建築面積 1624.83㎡ 延床面積 2967.88㎡

定員 従来型特養 70床、ショートステイ 10床

